

村山市校務 DX 計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が校務 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本市において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. 校務用 PC の整備

令和 3 年 1 月に教職員が校務で使用する PC の整備を行い、業務のために個人が PC を準備しなければならない状況を解消した。

県費職員には概ね PC を配付できたものの、市費職員には行き渡っておらず会議におけるペーパーレス化の妨げとなっている。

市費職員の業務内容は職種によって多様であり、PC の活用頻度にも差があるため、費用対効果を考慮しながら整備率の向上を図っていく。

2. 校務のデジタル化

校務支援システムについては、学校や市庁舎にサーバーは設置せず、サービス提供会社のサーバーにインターネット経由で接続して運用している。

学校現場において教務・保健・学籍・成績管理など様々な校務で使用している。

使用中の校務支援システムは、現時点で学習系サービスと連携しておらず情報を連携した運用ができないため、学習系サービスとの連携を見据えた次世代の校務システムへと移行を目指す。

3. クラウドサービスの活用

児童生徒の出欠連絡は電話による連絡が主流だが、一部の学校においてクラウドサービスを用いた連絡体制を取っており、教職員の電話対応の負担軽減や保護者の利便性向上など一定の成果が上がっている。

今後は学校の実情やニーズを踏まえながら、出欠連絡だけでなく、学校から保護者への連絡機能の整備を検討していく。

また、各校のデータファイルはローカルに設置されたサーバー等で共有されており、校務用ネットワークの整備された範囲でしか利用することができない。

クラウドサービスを活用し、データファイルへのアクセスの利便性を高め、多様な働き方を推進するとともに、データ消失などのリスクの軽減できる環境の構築を図る。

4. 校務系ネットワークの整備・改善

令和3年1月に校務用PCの整備に合わせ、ネットワーク機器の更新と無線LANネットワークの整備を行った。

第一期のGIGAスクール構想の思想に従い、セキュリティの確保や柔軟な設定・運用のため、学習系ネットワークとは物理的に分離された構成となっている。

「2. 校務のデジタル化」でも述べた学習系サービスとの連携を見据えた次世代の校務システムへと移行に併せ、ゼロトラストセキュリティの考え方に基づき、アクセス制御によるセキュリティ対策を講じたうえで学習系ネットワークの統合を進めていく。

5. FAX、押印の廃止

令和5年12月に文部科学省が公表した「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告によると、一部でまだ保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類があり、クラウド環境を活用した校務DXを大きく阻害していることが指摘されていることから、災害や教育ネットワークの不具合時などFAXの方が電子メール等より効率的な場合を除き、FAX・押印の原則廃止に向けて、継続的な見直しを行っていく。